



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場会社名 大日本塗料株式会社

上場取引所 東大

コード番号 4611 URL <http://www.dnt.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岩浅 壽二郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 瀬古 宜範

TEL 06-6466-6661

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	52,131	△1.8	1,762	△22.5	1,420	△19.0	647	28.7
23年3月期第3四半期	53,081	3.5	2,273	—	1,752	—	502	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 375百万円 (△31.7%) 23年3月期第3四半期 550百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	4.36	—
23年3月期第3四半期	3.39	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	68,931	17,389	22.4
23年3月期	70,092	18,828	21.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 15,442百万円 23年3月期 15,243百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,000	0.2	2,300	△23.9	1,500	△30.4	700	△31.0	4.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	148,553,393 株	23年3月期	148,553,393 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	62,814 株	23年3月期	61,781 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	148,490,819 株	23年3月期3Q	148,491,832 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州経済の先行き不安や東日本大震災の影響が企業収益、個人消費等に依然として色濃く残ってはおりますが、東日本大震災からの復興需要が徐々に顕在化するにつれ、持ち直しの傾向が見られます。

このような状況のもと、当社グループは安定的収益を上げうる体質を目指し、国内塗料事業の高付加価値化、海外塗料事業の積極拡大等を柱とした施策に積極的に取り組んでまいりました。国内の塗料需要が低迷し、販売量は前年よりやや減少しましたが、原材料価格の高騰による製造コスト増加を販売価格の改定や経費削減で一部吸収することができました。一方、海外需要の停滞や照明機器事業の不振により、利益面では厳しい結果となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、521億3千1百万円（前年同四半期比 1.8%減）、利益面につきましては、営業利益は17億6千2百万円（同 5億1千1百万円減）、経常利益は14億2千万円（同 3億3千2百万円減）、四半期純利益は6億4千7百万円（同 1億4千4百万円増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## 〔国内塗料事業〕

一般塗料は、構造物塗料分野で震災復興需要が一部見られましたが、国内需要の低迷や受注競争の激化により、販売量は伸び悩みました。利益面でも原材料価格の高騰により、利益水準は低調に推移しました。

工業塗料は、販売価格の改定により売上高は持ち直しの傾向が見られますが、原材料価格の高騰によるコスト増を吸収しきれず、利益面では極めて厳しい状況にあります。

この結果、国内塗料事業全体の売上高は398億7千2百万円（前年同四半期比 0.5%増）、セグメント利益は11億3千1百万円（同 2億4千万円減）となりました。

## 〔海外塗料事業〕

海外塗料事業は、東日本大震災及びタイの洪水被害の影響による日系メーカーの操業度低下により需要が低迷しておりましたが、自動車・プラスチック塗料を中心とした工業塗料の需要が回復しつつあります。しかし、利益面は円高や東南アジア地域及び中国における原材料価格の高騰により厳しい状況にあります。

この結果、海外塗料事業全体の売上高は39億4千1百万円（前年同四半期比 4.4%減）、セグメント利益は2億4千1百万円（同 8千万円減）となりました。

## 〔照明機器事業〕

照明機器事業は、全国的な節電志向を受けての省エネ対策としてLED設備向け需要が伸長しましたものの、国内で設備投資を控える傾向が依然として強く、主に蛍光ランプ商業施設向け新規需要やメンテナンス需要の低迷により売上、利益ともに低調に推移しました。

この結果、照明機器事業全体の売上高は60億2千6百万円（前年同四半期比 13.2%減）、セグメント利益は1億3千3百万円（同 3億5千万円減）となりました。

## 〔蛍光色材事業〕

蛍光色材事業は、海外で顔料需要がやや低調に推移し、円高の影響も受けてはおりますが、当第3四半期にかけて商品価格の改定と採算是正のためのコストダウンの効果があり、利益水準はやや持ち直しました。

この結果、蛍光色材事業全体の売上高は9億3千4百万円（前年同四半期比 4.6%減）、セグメント利益は8千万円（同 1千5百万円減）となりました。

## 〔その他事業〕

その他事業全体の売上高は13億5千6百万円（前年同四半期比 1.0%減）、セグメント利益は8千4百万円（前年同四半期はセグメント損失6千7百万円）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、689億3千1百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億6千1百万円の減少となりました。流動資産は345億7千4百万円で前連結会計年度末と比較して6億3千5百万円の増加となりましたが、これは現金及び預金の減少7億1千9百万円、受取手形及び売掛金の増加13億7千3百万円、たな卸資産の増加4億1千9百万円、繰延税金資産の減少1億9千5百万円、その他の減少2億5千7百万円等が主因であります。固定資産は343億5千6百万円で前連結会計年度末と比較して17億9千6百万円の減

少となりましたが、これは有形固定資産の減少7億6千6百万円、無形固定資産の減少3億6千5百万円、投資その他の資産の減少6億6千4百万円等が主因であります。

負債は515億4千1百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億7千7百万円の増加となりました。これは支払手形及び買掛金の増加15億8千9百万円、短期借入金の減少5億7千2百万円、未払法人税等の減少4億1千万円、災害損失引当金の減少5千5百万円、その他流動負債の減少1億3千9百万円、長期借入金の増加7億7千2百万円、リース債務の減少4億4千5百万円、再評価に係る繰延税金負債の減少2億1千6百万円、退職給付引当金の減少7千3百万円、その他固定負債の減少1億1千7百万円等が主因であります。純資産は173億8千9百万円で前連結会計年度末と比較して14億3千8百万円減少しました。これは利益剰余金の増加4億9千8百万円、その他有価証券評価差額金の減少4億円、土地再評価差額金の増加2億1千6百万円、為替換算調整勘定の減少1億1千5百万円、少数株主持分の減少16億3千8百万円等が主因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、平成23年5月12日に公表いたしました通期連結業績予想につき、現時点では業績予想の変更は行っておりません。

通期の連結業績予想につきましては、震災復興需要の顕在化の遅れや原材料価格の高騰による利幅の圧縮、円高や金融市場の混乱による日本経済の不安定化に鑑み、現時点では期初の予想水準並みと考えております。

これからの情勢により、通期業績見込みについて見直しが必要と判断した場合は、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,590	2,870
受取手形及び売掛金	16,599	17,972
商品及び製品	7,575	7,466
仕掛品	1,111	1,259
原材料及び貯蔵品	2,871	3,251
繰延税金資産	597	401
その他	1,744	1,486
貸倒引当金	△149	△133
流動資産合計	33,939	34,574
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,899	18,863
減価償却累計額	△12,014	△12,278
建物及び構築物(純額)	6,884	6,585
機械装置及び運搬具	23,697	23,637
減価償却累計額	△19,449	△19,754
機械装置及び運搬具(純額)	4,247	3,882
土地	11,947	11,935
リース資産	760	774
減価償却累計額	△218	△302
リース資産(純額)	542	471
建設仮勘定	15	62
その他	6,096	6,137
減価償却累計額	△5,355	△5,462
その他(純額)	741	674
有形固定資産合計	24,379	23,612
無形固定資産		
のれん	169	177
リース資産	1,344	988
その他	388	370
無形固定資産合計	1,901	1,536
投資その他の資産		
投資有価証券	4,285	3,647
繰延税金資産	3,667	3,746
その他	2,182	2,064
貸倒引当金	△262	△250
投資その他の資産合計	9,872	9,208
固定資産合計	36,153	34,356
資産合計	70,092	68,931

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,415	19,004
短期借入金	12,466	11,894
未払法人税等	515	104
製品補償引当金	82	56
災害損失引当金	61	5
その他	5,132	4,993
流動負債合計	35,673	36,060
固定負債		
長期借入金	8,330	9,103
リース債務	1,785	1,339
繰延税金負債	156	131
再評価に係る繰延税金負債	1,731	1,514
退職給付引当金	3,072	2,998
役員退職慰労引当金	135	138
環境対策引当金	44	39
その他	334	215
固定負債合計	15,590	15,481
負債合計	51,264	51,541
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,827	8,827
資本剰余金	2,443	2,443
利益剰余金	2,533	3,032
自己株式	△9	△10
株主資本合計	13,794	14,293
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	454	54
土地再評価差額金	1,454	1,671
為替換算調整勘定	△461	△576
その他の包括利益累計額合計	1,448	1,149
少数株主持分	3,585	1,946
純資産合計	18,828	17,389
負債純資産合計	70,092	68,931

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	53,081	52,131
売上原価	37,376	37,498
売上総利益	15,705	14,632
販売費及び一般管理費	13,431	12,870
営業利益	2,273	1,762
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	66	86
その他	216	201
営業外収益合計	286	289
営業外費用		
支払利息	432	384
その他	374	247
営業外費用合計	807	631
経常利益	1,752	1,420
特別利益		
固定資産売却益	3	6
貸倒引当金戻入額	4	—
受取保険金	—	80
その他	1	0
特別利益合計	9	87
特別損失		
固定資産処分損	17	46
投資有価証券評価損	162	0
その他	68	16
特別損失合計	249	64
税金等調整前四半期純利益	1,512	1,443
法人税、住民税及び事業税	519	354
法人税等調整額	302	365
法人税等合計	822	719
少数株主損益調整前四半期純利益	690	723
少数株主利益	187	76
四半期純利益	502	647

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	690	723
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△90	△403
土地再評価差額金	—	216
為替換算調整勘定	△46	△159
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△0
その他の包括利益合計	△140	△347
四半期包括利益	550	375
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	366	348
少数株主に係る四半期包括利益	183	27

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計			
売上高								
外部顧客への売上高	39,670	4,121	6,939	979	51,710	1,370	—	53,081
セグメント間の内部 売上高又は振替高	807	8	—	156	972	2,289	△3,261	—
計	40,478	4,129	6,939	1,135	52,683	3,660	△3,261	53,081
セグメント利益又は損 失(△)	1,371	322	484	96	2,274	△67	66	2,273

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業、不動産管理事業、経理業務サービス事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,274
「その他」の区分の利益	△67
セグメント間取引消去	119
のれんの償却額	△52
四半期連結損益計算書の営業利益	2,273

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への売上高	39,872	3,941	6,026	934	50,774	1,356	52,131	—	52,131
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	688	23	—	124	836	2,288	3,124	△3,124	—
計	40,561	3,964	6,026	1,058	51,611	3,645	55,256	△3,124	52,131
セグメント利益	1,131	241	133	80	1,586	84	1,671	90	1,762

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事事業、物流事業、不動産管理事業、経理業務サービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額90百万円には、セグメント間取引消去150百万円、のれんの償却額△60百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。